

## 令和4年第7回大竹市教育委員会

- 1 開催日時 令和4年7月22日（金）9時30分開始
- 2 会場 大竹市役所3階大会議室
- 3 出席及び欠席委員
- |     |      |    |
|-----|------|----|
| 教育長 | 小西啓二 | 出席 |
| 1番  | 池田良枝 | 出席 |
| 2番  | 中田美穂 | 出席 |
| 3番  | 小出哲義 | 出席 |
| 4番  | 小城和之 | 出席 |
- 4 出席職員
- |        |      |
|--------|------|
| 総務学事課長 | 貞盛倫子 |
| 総務学事課  | 重安千陽 |
|        | 瀬川隆司 |
|        | 横峰路子 |
|        | 錦戸宏泰 |
|        | 大庭史善 |
| 生涯学習課長 | 吉村隆宏 |
| 生涯学習課  | 安藤好博 |
|        | 加藤 豪 |

.....

### 【開会時刻 9時30分】

小西教育長 定足数に達していますので、これより令和4年第7回大竹市教育委員会会議を開会します。

はじめに、議事録署名委員を指名します。議事録署名委員は、大竹市教育委員会会議規則第15条第2項の規定により、小城委員を指名します。

これより本日の日程に入ります。

日程第1「会期の決定について」を7月22日一日限りとします。これに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって会期は本日一日間と決定しました。

### 報告第15号 教育に関する市議会提出議案に対する意見の申出について

小西教育長 日程第2「報告第15号 教育に関する市議会提出議案に対する意見の申出について」を議題とします。事務局から説明を求めます。

事務局 令和4年7月大竹市議会臨時会（第4回）に、次の議案を提出するに当たり、市長から意見を求められましたが、緊急やむを得ないと認め、教育長において異議ないものと申し出たので、今回の教育委員会に報告し、承認を求めるものです。

市議会に提出した議案は、「令和4年度大竹市一般会計補正予算（第4号）」です。学校給食費支援事業では、大竹市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、令和4年10月以降の学校給食費の半額支援を実施するための費用として、2,632万8千円を計上するものです。

歳出で説明した学校給食費支援事業の財源として、地方創生事業基金繰入金を歳出と同額の2,632万8千円計上するものです。

小西教育長 これより質疑に入ります。質疑はありますか。

池田委員 地方創生事業基金は、コロナ対応に対する国からの補正予算を財源としたものなのかということと、学校給食の支援は、どの程度保護者の負担が軽減されるのかを教えてください。

事務局 財源となる地方創生事業基金は、市のふるさと納税などの歳入を積み立てている基金です。

事務局 保護者に対してどれくらい補助があるかについては、10月1日から3月末までということで、学校や学年によっても違いはありますが、児童では1万4,310円、生徒では1万6,848円程度の補助があります。

池田委員 物価がすごく高くなっていて、給食費が献立どおりに作っていくつてのがすごく大変なのではないかと思うのですが、食材費に充てるのではなく、子どもたちの給食費を納める金額が減るということですか。

事務局 現在、食材費が大変高騰しているので、2月の定例会において値上げについて提案をしました。その金額で、今までどおりの給食が提供できていますので、保護者に対しての補助ということになります。

池田委員 値上がりをしている中で、給食の提供が出来ていることは良いことだと思います。

小西教育長 他に質疑はありますか。

委員一同 なし。

小西教育長 質疑なしと認めます。これをもって質疑を集結します。本件は報告事項です。報告のとおり承認することに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり承認されました。

### 協議・報告事項 大竹小学校プール建設事業について

小西教育長 日程第3「協議・報告事項 大竹小学校プール建設事業について」を議題とします。事務局から説明を求めます。

事務局 事業計画の概要を説明します。

完成から50年以上経過し老朽化する大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、隣接する両校で共同使用できる施設として新たに整備するという事業です。昨年度、再編交付金を財源として、両校の既存プール施設の解体設計と新たに建設するプール施設の設計業務（基本設計、実施設計）を行いました。今年度は、両校の既存プール施設の解体工事を行い、新たなプール施設の建設工事に着手します。令和5年度に完成し、令和6年度から使用開始する予定です。

次に整備するプールの概要について説明します。主に小学校中学年以上が使うメインプール（大プール）と小学校低学年が使うサブプール（小プール）を整備します。大プールは25メートル×約12メートル、6コース分で、小プールは9メートル×約8メートルです。

建屋については、プールの南側に配置し、更衣室、トイレ、倉庫、機械室などが入ります。また、現在の建屋にも併設してある、外向きのトイレと倉庫について、今回も併設することとしています。

プールの周囲については、市道に面する東側と北側は目隠しとなるフェンスを設置します。西側はプール側からの視界確保等を理由に、目隠しなしのメッシュフェンスとします。

建屋の配置については、現在は西側に配置している更衣室等を南側に配置します。南側に配置することのメリットは、一点目として、児童・生徒の動線を直線的にとることができること、二点目として、熱中症予防の観点から、日除け効果が期待できること、三点目として、感染症対策や湿気対策の観点から、南側からの通風により快適な内部空間が確保されることが期待できること、この点は施設維持管理上のメリットでもあると考えています。

建設工事の事業費については、今年度の当初予算ベースで、3億9,900万円です。令和3年度の設計業務については、特別措置法の規定による再編関連特別事業として再編交付金の交付を受けて実施しました。今年度と来年度に実施する建設工事は、米空母艦載機部隊配備特別事業として新たな交付金を充当して実施します。この2年間で必要となる事業費に充当するため、今年度の米空母艦載機部隊配備特別交付金を財源として基金に積み立てます。積み立てる基金は、「大竹市教育環境充実基金」です。これまでに、小方小・中学校の整備や玖波小学校の整備の際に、再編交付金を財源として積み立てて役立てた基金です。総額3億9,900万円の充当を見込んでおり、そのうち今年度は、1億6,730万円を交付申請し、今月交付決定を受け、基金に積み立てました。各年度の事業費に充当する予定としています。

予定する工程について説明します。解体工事は今月から約3か月、建設工事は10月から約12か月、令和5年9月の完成を予定しています。

今年度は、3年ぶりにプールを使用することができましたが、来年度は工事期間中に当たるため、水泳の授業を実施することができず、令和6年度からの使用開始となります。

次に、今月からすでに始まっている、既存プールの解体工事について、説明します。予定する工期は、令和4年6月20日から10月14日までで、実際に現地での作業は、今月11日から実施しているところです。工事の内容としては、プール、更衣室、機械室などを解体し撤去します。大竹小学校については、解体工事完了後、10月頃から新たなプールの建設工事が始まる予定です。また、大竹中学校は解体後、当面の間はグラウンドの一部として使用することとなります。

大竹小学校と大竹中学校それぞれの工事用車両の出入口付近に誘導員を配置します。

現在の状況と今後の予定としては、今週中に工事区域の囲いなどの仮設工事が概ね終わる予定で、来週月曜日頃から解体作業に入ることとなっています。解体工事に際しては多少の騒音が発生するため、授業などへの影響を考慮し、できる限り夏休み期間を中心に行うこととしています。

大竹中学校はグラウンドの使用に制限がかかるため、特に部活動中の生徒の安全を、また大竹小学校は建設工事まで含めると1年以上の長期にわたることもあり、児童の登下校時の安全を、最優先事項として工事を進めていきます。また、工事用車両の出入りや、解体工事などによる騒音や粉塵の発生など、地域住民の皆様にも十分配慮して進めます。

小西教育長 長年の懸案事項であった大竹小学校・中学校のプール解体工事と建設工事がスタートするという事で、工事期間中は関係者には色々ご迷惑をおかけすることになります。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

小出委員 解体業者と新しくプールを作る業者というのは一緒ですか。解体工事の完了を待って新しいプールの工事が始まると思いますが、小学校のプールと中学校のプールが、同時に解体が始まり、完了も一緒なのですか。小学校のプールを先に壊してしまえば、そのあとすぐ新設の新しい工事に入るわけで、中学校の解体まで待たなくてもよいと思うので、同時でないとなれば小学校のプールを先に壊してしまって、そこに新しく新しいプールを作りつつ、中学校のプールを壊せばいいのかなと思うのですが、そのあたりを教えて欲しいです。

今の小学校の5年生、6年生は、プールの授業ができて夏休みのプール利用ができなくて、来年は授業自体もないということになると思いますので、来年度に3か月工期が縮められればと思います。

無理なことなのかもしれませんが、工期の工夫があって、このプランになっているのでしょうか。

また、プールの解体、建設工事について、児童や保護者のうちで、意見や要望にどのようなものがあるのでしょうか。大竹小学校はPTAの中にプールの委員会がありますし、児童や保護者の受けとめ方について、併せて教えてもらえればと思います。

事務局 解体工事、建設工事を両方ともシーズンオフの時期にできないか検討しましたが、建設工事だけで概ね1年かかるということで、難しいという事が判りました。プール本体の工事以外の基礎工事は、軟弱地盤ということもあって、杭を施工する工事が必要になり、どうしても1年かかるという事で、シーズンオフの時期だけの工事は断念したところです。

契約予定金額が、議会の議決を要する金額になるため、大竹市議会の日程に合わせる必要もあり、今回は仮契約後、9月の議会での議決を受けることができるよう議案を上程する予定としています。日程の都合上、10月頃からの工事になるということです。

また、解体工事と建設工事は、それぞれ別の業者で進めています。これに関しては大竹市の契約を担当する監理課で方針を決めて、どういった工事が適切なのかという事を検討して進めているためこういった形になっています。

プールの建設に関しては、学校の意見は聞いていますが、PTAに直接話を伺うことはしていません。中学校の生徒も利用するという事で、移動経路の安全確保というのは、十分注意していかないといけません。今回は教育委員会と学

校で検討した案という事になります。

小出委員 解体工事は、同時に始めて同時に終わるのですか。

事務局 解体工事は、小学校と中学校それぞれ別の日程で行うことは可能ではあったと思うのですが、音が出るような工事は夏休み中に実施するという方針をとり、同時の工事となりました。

小西教育長 解体工事については、地域住民の説明会は行っていますので、もし地域住民から何か意見や質問があれば、教育委員会を照会していただけたらと思います。

事務局 解体工事に入る前の7月8日の金曜日に、地域住民を対象に説明会を開催しました。事前に、工事の概要を詳しく記載した案内を、白石地区、本町地区の地域の皆様に配りました。当日直前に激しい雨が降って天候不順ということもあって、参加人数が少ない中での開催となりました。そこで出た意見としては、小学校の工事区域に関して、「北門から正門までの間の通行はどうか。」、「スクールバスの乗降について、どのように安全を確保するのか。」といった意見がありました。

小西教育長 教育委員会としては、安全、安心ということが一番を考えながら、これから工事を進める予定です。

その他質問や意見があればお願いします。

中田委員 工事が完成した後の話になりますが、中学校の生徒が小学校のプールを一緒に利用するというので、中学校からは少し距離があるように思います。移動ルートは、新たにプール付近に門を設置するのか、今ある最短ルートを通って行くのかなど教えていただけたらと思います。水泳の授業の前後は、着替えの時間があり、時間もすごくタイトなので気になります。あとは、大竹中学校プール解体後の跡地の利用について、現時点で予定があれば教えてください。

事務局 まず1点目の、大竹中学校からの移動経路ですが、小学校の入口に関しては、一番近い東側の門から入って、更衣室に移動するという経路を考えています。中学校の出入口ですが、正門を回ると安全に通行できますが、多少遠回りになります。体育館横辺りに小さな出入り口があるので、この辺りを安全に通行できるように、門を設置できないかと教育委員会では考えています。

大竹中学校のプールの跡地ですが、これに関しては、今から検討していくことになっています。グラウンドにするとしても、グラウンドが不整形になるため再整備が必要かと思っています。大竹保育所の改築工事が、福祉課で進んでいまして、その間の市道の歩道の整備が、土木課で進んでいます。これから、関係各課としっかり協議しながら、どのように整備していくのか考えていきたいと思っています。

小城委員 児童と生徒の安全が第一だとは思いますが、工事区域から外に出るところだけに誘導員を配置するっていうのが工事車両とか、工事車両に対しての歩行者への配慮だと思います。交差点の歩道橋を渡るというのが大前提だとは思いますが、工事車両が交差点に出るときに、交通事故があってもいけないと思うので、ここにもう1人誘導員の配置を検討した方が良いのではないかなと思います。

あと、国道186号線に信号があったと思いますが、信号が点滅だったら先生が安全確保のために立ってもらった方が安全かなと思います。中学校よりも小学校の方が、メインの動線が多く、工事車両の往来も激しいと思うので、近隣住民への配慮も含めて、誘導員配置を検討してもらえたら良いかと思っています。

小西教育長 誘導員の配置等についてはこちらで再度協議していきたいと思っています。信号は、大竹小学校の前の正門のラインの信号は点滅です。中学校側の交差点は、点滅ではありません。下校時には工事車両はどうなっていますか。

事務局 工事期間中の工事の時間としましては、8時半から17時までの予定として

いまして、搬出車両通行は、概ね9時頃から17時頃までと予定していますので、登校中には当たりませんが、下校時刻に当たります。しっかりと安全を確保するように工事業者には伝えていきます。

小西教育長 下校時については、配慮が必要ということです。

池田委員 大竹小学校、大竹中学校のプールが建設されて50年というのは、驚きました。玖波小学校と玖波中学校のプールもかなり古くなっていると思いますが、どのくらい経っているのかを教えてくださいたいと思います。それから、防犯上のことで囲いの設置を配慮していると思うのですが、最近も色々なところで盗撮事件が起こっている中で、歩道橋があるのが気になります。防犯カメラの設置というの、これから検討していただきたいなと思います。

設計についてですが、更衣室は通気性が悪いので、いつもジメジメしている状態だったと記憶しています。通気性について、配慮されていることが何かあれば教えてくださいたいと思います。

事務局 玖波小学校、玖波中学校のプールですが、玖波小学校が50年以上、玖波中学校のプールが40年経過しており、対策を考えていきます。

歩道橋についてですが、そこについては土木課と協議をしまして、目隠しとなるような対策を、防犯カメラ設置も含めて、対応していきたいと思っています。

それから、更衣室の配置については、場所の制約と、大竹小学校、中学校は児童・生徒数が多いこともあり、このような形になっています。小瀬川方面から南風も吹きますので、換気口を両側に設け、常に自然に換気できるような状況になるよう配慮をしています。

小城委員 プールの授業の時に、怪我人又は溺れる人がいた場合に、緊急車両とかがどのような動線で入ってくるのかを検討してもらいたいです。既にプランが決まっているので、どこまで対応してもらえるかわかりませんが、暑い中でやるので、熱中症になった時に、どこかで休ませる部屋があった方が良いのではないかなと思います。その辺りの対応を検討しているか教えてください。

事務局 緊急車両の動線は、通路、スロープは南側に配置しているので、正面側からになるかと思っています。事故や急病の際に休養する部屋は、プール施設には特に設けていません。そういった場合には、小学校の保健室を利用することになります。建屋の真ん中辺りに管理室があり、主に教員が使う部屋になりますが、その付近には屋根があり、日陰が出来るスペースがあるため、この辺りで一時的に休むといったことはできると考えます。

小西教育長 今までのプールよりコンパクトになっています。児童生徒数も減少しているため、プールサイドを幅広く取っているのでしっかり対応できるのかなと思っています。どちらにしても、状況を注視しながら対応していきたいと思っています。

池田委員 小方学園のプールには屋根があります。屋根付きであれば、天候に左右されずに使用できたりとか、暑い時期の使用なので、日陰だったり、防犯上のことも対処できるかなと思います。屋根の検討はしなかったのですか。

小西教育長 小方学園の場合は、用途目的として、学校教育だけではなく社会教育のための市民開放事業も行っているため、屋根をつけています。大竹小学校の場合は、学校教育のみで活用していこうということで、屋根は必要ないと考え、このような形になっています。その辺りの協議を行いました。言われたように、防犯上の面では協議していかななくてはならないことも多々ありますので、意見を参考にしていきたいと思っています。

小方学園のプールは、風の通りの関係で暑くなります。逆に熱中症を心配されたりしたこともあります。ただ、天候に左右されないという面ももちろんあります。市民開放事業の利用状況等はどうですか。

事務局 小方学園で市民開放事業をしています。7月最初の土日から開催して、7月の前半の土曜日、日曜日は1日辺り300人ほどの子どもの来場がありました。

7月の中旬に外気温は35度を超えている状況で、ご指摘のとおり、屋根があっても直接日差しは当たらないのですが、水温は30度から31度ほどとなっていて、決して冷たいプールではない状況でした。常駐している4名のプールの監視員に聞きますと、軽い熱中症の状態になったこともあるとのことでした。子どもたちも心配ですので、実際1時間に1回休憩することになっていましたが、25分間遊泳して、5分間休憩し、その間に水分補給をするということを徹底させています。水中であっても熱中症の心配が非常に高い状況ですので、屋根があるから良いというものではなく熱中症対策をしながら、事業を開催しています。

もう1点、昨年度小方学園で落雷事故があり、屋根付きのプールであってもそういった心配もあるので、天候状況を見ながら事業をしています。

小出委員 設計の話なので分かれば教えてもらいたいのですが、プールと道路のフェンスの間に少し空いているスペースがありますが、無駄なスペースのように思えます。先生からの死角になって、たまり場になったり、物が投げ込まれたりなどが起こるのではないかと思います。プールとしては、すごく良い形だと思いますが、あえてこの空間を設けた理由があれば教えてください。

事務局 現在のプールは道路に面した形になっていて、広いスペースを使っています。新しいプールは、現在のプールと比べると、コンパクトな形になっています。

また、道路の形状の影響により、このような形になりました。道路までぎりぎりまでプールにすればもっと広く使えるということもあるとは思いますが、そうすると事業費も大きくなるということも理由の一つです。プール側からは死角になると思いますが、道路側からはしっかりと視界確保できています。プールを管理するための通路として必要と考えています。

小西教育長 他に質疑や意見はありませんか。

委員一同 なし。

小西教育長 ないようですので協議を終わります。

どちらにしても大竹小学校の子どもたちにとっては、来年度プールの授業が行えないということになります。

新型コロナウイルスが流行して、2年はプールで泳いでないですから、小学校6年間のうち3年の間プールの指導がなかったという事にはなります。仕方のないところもありますが、プールが完成してからその辺りを踏まえてプールの指導をしていきたいと考えています。工事がこれから始まりますので、建設等でまた色々な課題が出てくることもあるかと思えます。そのときには、教育委員会議で報告をしたいと思えます。

小西教育長 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

なお、本日の会議の議事録を作成するに当たり、各議題の審議内容について、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を会議の議長に委任されたいと思えます。異議ありませんか。

委員一同 なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、字句、数字、その他の整理は、議長である教育長で行います。

これにて、令和4年第7回大竹市教育委員会会議を閉会します。

【閉会時刻 10時20分】

.....